

丸森町観光振興計画（最終案）

計画の概要

1 計画の目的

丸森町では平成 27 年 3 月に、令和 6 年度までを計画の期間とした「丸森町交流人口 70 万人計画」を策定し、観光による産業振興を通じた地域への経済効果の向上をめざし、観光資源の魅力向上、観光客受入環境の充実、観光資源の観光商品化などに取り組んできました。

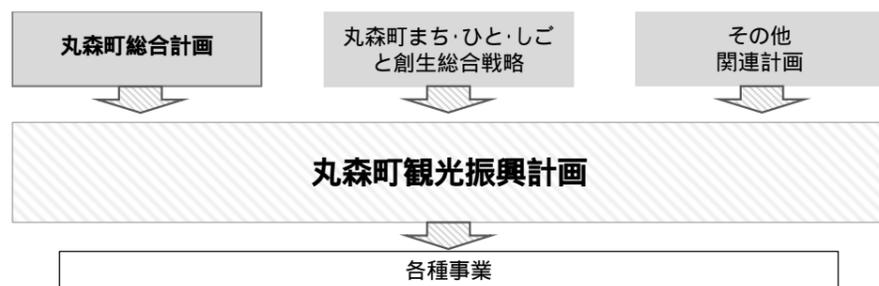
しかし、令和元年 10 月に台風 19 号が甚大な被害をもたらし、住民の生活はもとより、産業振興に大きな打撃を与えました。さらには令和 2 年より国内に蔓延しはじめた新型コロナウイルス感染症の影響により、国内はもとより世界的に観光に対する考え方が大きく見直されています。

このような丸森町を取り巻く状況の変化を鑑みたくえで、丸森町の観光資源をもう一度客観的に見つめ直し、広く発信していくことで観光の振興、地域産業の活性化を図っていくため、計画の期間を前倒し、新たに「丸森町観光振興計画」を策定するものです。

2 計画の位置づけと計画の期間

本計画は、町の最上位計画である「丸森町総合計画」の観光関連分野における個別計画であり、国・宮城県の観光に関する計画や施策との整合を図りながら策定する計画です。

計画期間は、令和 5 年度から令和 14 年度の 10 年間とします。なお、観光を取り巻く社会情勢や環境の変化に柔軟に対応しながら、戦略的に取り組みを進めます。



課題のまとめ

これまでの調査結果や検討結果を基に以下の視点で課題をまとめます。

- 強みを生かした観光資源の発掘・魅力向上
- リピーターの確保と来訪者の裾野の広がり
- 滞在時間の延伸と来訪者の消費額の増加
- 多様な分野のまちづくりとの連携
- 町民の郷土愛の醸成と観光振興への参画

概要

観光振興の基本方針

1 将来像

個性が輝きを放つ
「まるっと まるしえ まるもり」

町全体が観光の市場として楽しむことができるまちをイメージし、町にある多様な資源をつなぎ合わせて、新たな価値を生み出していくことによって丸森町の観光振興を進めていきます。また、いつ何度来ても楽しめるような新たな魅力や付加価値を生み出し、リピーターを増やしていくとともに、効果的な PR 等により来訪者の裾野を広げ、新たな層の獲得を目指します。

2 目標値の設定

人口減少が進む中、より多くの方に丸森町に観光に来ていただくことも重要ですが、それによって地域の経済及び町民の生活が潤うことがそれ以上に重要となってきます。本計画においては、「来ていただいた方がいかに丸森町で消費していただくか」を念頭におき、「観光消費額」を数値目標として設定します。

一人当たり観光消費額（日帰りにおける平均単価）

項目	基準値(令和3年)	目標値(令和14年)
飲食費	1,872 円	2,800 円
土産購入費	3,499 円	5,200 円
その他	1,429 円	2,000 円
計	6,800 円	10,000 円

観光客入込数及び観光消費額

項目	基準値(令和3年)	目標値(令和14年)
観光客入込数	38 万 3 千人	80 万人
観光消費額	26 億 400 万円	80 億円

3 「丸森町交流人口 70 万人計画」の継承

宮城県では、令和 4 年に「第 5 期みやぎ観光戦略プラン」を策定し、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の水準まで戻すことを回復目標と定め、さらにアフターコロナの観光需要を見据えた成長目標も合わせて設定しています。しかしながら、本町においては令和元年 10 月の台風 19 号により甚大な被害を受け、復旧・復興期間中であることから、「丸森町交流人口 70 万人計画」の計画最終年にあたる令和 6 年の観光客入込数を過去最高であった平成 27 年の水準近くまで回復させることを目標とします。また、この目標の達成に向けた取り組みについては、本計画の取り組みに包含していくものとします。

観光客入込数の実績値及び目標値

基準値 平成 25 年	当初目標値 令和 6 年	過去最高実績値 平成 27 年	実績値 令和元年	実績値 令和 3 年	修正目標値 令和 6 年
571,281 人	746,500 人	625,590 人	493,495 人	382,896 人	600,000 人

基本戦略と具体的な施策

基本戦略 1

丸森観光のきっかけづくり

デジタル技術などを活用しながら観光客の消費行動などを分析し、ニーズに合わせた観光振興を進めていきます。

取り組み方針	具体的な取り組み内容
1-1 マーケティングの強化	● 観光データの収集・分析
1-2 情報発信と誘客	● ターゲットに応じた効果的なプロモーションの展開 ● 旅行者のニーズに応じた情報発信

基本戦略 2

丸森の魅力が伝わる観光のコンテンツづくり

歴史、自然、農・食、人といった既存の観光資源を磨き上げるとともに、満足度の高い新たな観光プロダクトの開発を行い、リピーターとなる『丸森ファン』を増加させていきます。

取り組み方針	具体的な取り組み内容
2-1 丸森の魅力をもつ観光資源の充実	● 齋理屋敷をはじめとした歴史・伝統文化の活用 ● 阿武隈川を生かした観光客の誘致 ● 「丸森のアウトドア」のブランディング ● 新しい魅力や新規体験メニューの造成
2-2 丸森の物販機能・商品開発等の強化	● 農産物のブランド化及び特産品を活かした商品開発 ● 地元飲食店等の魅力再発進 ● 丸森の「農」を知る、観光農業・グリーンツーリズムの推進
2-3 多様な視点からの「丸森ファン」づくり	● 「新しい働き方」に合わせた観光メニューの造成 ● 来訪者の裾野を広げる交流事業の推進 ● ふるさと納税の活用

基本戦略 3

町一体となって取り組む受け入れ体制の充実

観光が町の経済に与える好影響を町民が実感できるよう、観光産業への参画を促進していくとともに、町民の「郷土愛」を育てていきます。さらに、ハードとソフトの両面から受け入れる体制を整理していきます。

取り組み方針	具体的な取り組み内容
3-1 町民の意識向上と人材育成	● 町民への情報発信・郷土愛の醸成 ● 観光に係る人材育成
3-2 受け入れ体制の整備	● 指定管理施設を中心とした施設の整備 ● 二次交通及び動線の充実 ● 時代に合わせた町内観光DX化の推進
3-3 観光推進体制の強化	● 観光関係者との情報共有の仕組みづくり ● 広域連携強化 ● 民間事業者の事業活性化に向けた支援